



沖縄県立看護大学

2015年度 大学案内



Okinawa
Prefectural
College of Nursing

CONTENTS

学長あいさつ	1
大学の理念	2
新カリキュラム教育課程の編成	3
教育科目の年次配置	4
沖縄県立看護大学の特色ある科目	5
看護学部・別科助産専攻 Q&A	6
資格取得要件と国家試験合格率	7
平成 27 年度行事	8
在学生からのメッセージ	10
卒業生からのメッセージ	11
大学院 Q&A	12
大学院教育研究分野・領域の概要	13
大学院生の紹介	14
別科助産専攻	15
地域連携	16
国際交流	17
学習環境	18
実習施設一覧	19
沿革・教員一覧	20

沖縄県立看護大学の歌

作詞 新城正紀
作曲 林 達郎

- 一、人々の生命の尊き大切に
人のやさしさにふれあえば
看護の知識学びは深く
友と語りて師に励まされ
豊かな心で看護を学ぶ
我らが沖縄県立看護大学
- 二、地球に生きる生命を大切に
病める人々の声を聞く
珊瑚の海越え愛しみ広げ
世界に飛び立つ大志を抱け
広き視野もて看護を学ぶ
我らが沖縄県立看護大学
- 三、おだやかな陽さしあふれる校舎は
そよ風吹きて木々ゆらす
色とりどりの花の癒し
小鳥のさえずりに日々励まされ
希望を胸に看護を学ぶ
我らが沖縄県立看護大学



学章について

人間が人間を支えていく人材を世に送り出す看護大学としてのイメージを NURSING (看護) の英語頭文字の N の文字によって人体をデザイン化し、シンボライズしました。

沖縄県立看護大学は開学から17年目を迎えました。1学部1学科で出発し、現在は学部の他、保健看護学研究科博士前期課程・後期課程と、別科助産専攻が設置されています。学部教育では看護のジェネラリストを、大学院博士前期課程では専門看護師等、特定看護分野のスペシャリストや看護管理者、看護教育者を、博士後期課程では看護分野における教育・研究者を、別科助産専攻では助産師の育成を行なっています。全在籍者数が400名足らずの小さな大学ですが、看護分野における多様な人材育成に取り組んでいます。

沖縄県は日本の最南端に位置しアジアに開かれた離島県という地理的特性から、様々な文化や人々と接し交流する中で多様性を受け入れ、他者と協調・共生しつつ独自の地域文化を育んできました。先の大戦では地上戦を経験し、多くの命と文化遺産を失いました。

看護教育に関しても戦前あった看護学校は戦禍によって消失し、終戦翌年に設置された病院附属の3つの看護学校から新たに始まりました。看護大学は大学での看護教育を求める社会的な動きに加えて、先輩諸姉の強い願いが後押しとなって設立されました。過去の歴史の積み重ねの上に現在があり、現在の歩みの先に未来が拓かれることを心にとめて未来につないでいきたいと思っています。

現代社会の変化はめまぐるしく、日本全体が直面する少子高齢化の社会は待ったなしに目前に迫っています。これまで看護職の多くは病院などの医療機関で健康回復への支援をしてきましたが、その活動の場は地域や保健医療福祉の様々な場に広がってきています。さらに、ある特定の職種だけで課題に取り組むことは難しく、多職種間の協働・連携が必要です。学部、大学院、別科での教育を通して、看護職としてのアイデンティティーの確立・深化と共に多職種と協働・連携する力を育んでいきます。

大学院の学生のほとんどが実践現場で働きながら学んでおり、学習と実践と研究成果の実践現場への還元が好循環し始めています。院生と教員双方がゆとりをもって教育・学習に取り組んでいけるような条件整備も、本学の教育研究の発展には不可欠だと考えています。さらに、大学の資源を活用した研修・研究の支援・協働など、地域の看護職者の継続教育の拠点としての役割も果たしていきたいと思えます。本学の使命である看護の人材育成を通して人々の健康と福祉に貢献するために教職員、学生、行政と目的を共有し、よりよい大学づくりに努力します。



沖縄県立看護大学の必要性

沖縄県の戦後の看護婦養成は1946年に米国の指導によって開始され、質の高い看護サービスを提供し、また、保健医療サービスの恩恵の少ない離島・僻地を含めた県民の健康確保のために本県独自の制度として、保健婦駐在制度のような保健医療サービス体制を確立するなど、全国的に高い評価を受けてきました。

本県では人口の高齢化や肥満、島嶼（とうしょ）性等から生ずる諸問題も多く、県民が安心して暮らせるための在宅看護や地域看護体制の確立等、研究を要する課題も多くあります。

このようなことから、地域保健看護に従事する保健師等の人材育成に大きな期待が寄せられており、従来にも増して地域の課題を解決する為の企画力、指導力、多種にわたる関係職種と有機的に連携しながら効果的な看護活動を展開するための調整能力等が求められています。その人材育成に当たって、本学は県民性、地域性等特有な文化の理解の上で、地域のニーズを反映した教育を担っていきます。

大学の理念

大学の使命

本学の使命は、沖縄の地理・歴史・文化、看護を取り巻く今日的状況および社会的要請、また、グローバル時代における人々の健康上のニーズおよび学生・院生の学習上のニーズを踏まえて、看護を科学的に実践できる質の高い人材を育成することです。すなわち、保健医療福祉の分野において県民の期待に応えうる、質の高い看護職者の育成を図り、同時に看護の教育、研究および実践の中核的機関として看護実践および学術的發展に寄与することです。

大学の教育理念・目標

< 教育理念 >

本学の教育理念は、設置の趣旨に基づき、生命の尊厳を重視し豊かな人間性を養い、多様化・国際化の進む社会で幅広い視野を持ち、看護を科学的に実践できる看護職者を育成し、人々の健康と福祉への貢献をめざす。

< 教育目標 >

1. 生命の尊厳を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を養う。
2. 幅広く学問を学び、知性と感性を高め、創造力を養う。
3. 看護の専門職に必要な知識・技術・態度を修得し、科学的な根拠に基づく判断と問題解決の能力を養う。
4. 保健・医療・福祉の概念を共有し、関係職種との連携の中で専門職者としての看護の役割を担うことのできる能力を養う。
5. 自己の看護実践を振り返るリフレクション能力と生涯学習能力を養う。
6. 人間のおかれた地理的文化的特性を理解し、地域に根ざした保健看護活動ができる能力を養うとともに、国際的視野で保健看護活動ができる能力を養う。
7. 研究的態度を身につけ、保健看護活動をとおして看護の発展に寄与する能力を養う。

アドミッションポリシー

本学の教育理念と目標の達成と実現に向けて、次のような資質と能力、意欲を持った学生を求めています。

1. 人の生命と健康に関心を持ち、看護職者として社会に貢献したいと意欲を持った方
2. 幅広く学問を学ぶ能力を持ち、主体的に学習する習慣を身に付けた方
3. 離島・過疎地域医療を含めた沖縄の看護に関心を持つ方
4. 異なる文化に関心を持ち、国際的な視野で看護を学ぶ意欲を持った方
5. 本学の教育方針に従い、規則を遵守し、学業に専念できる方

新カリキュラム教育課程の編成

専門関連科目

統合科目

統合科目は、看護職者として倫理観を持ち、自らを律し、他者と連携し専門職者として看護の役割を担う能力を養うための科目群である。また、統合的な学習経験と創造的思考により質の高い看護を実践する能力を身につける。そして、看護職者として社会的責任を果たすために、生涯学習能力を養う。

生涯発達看護科目

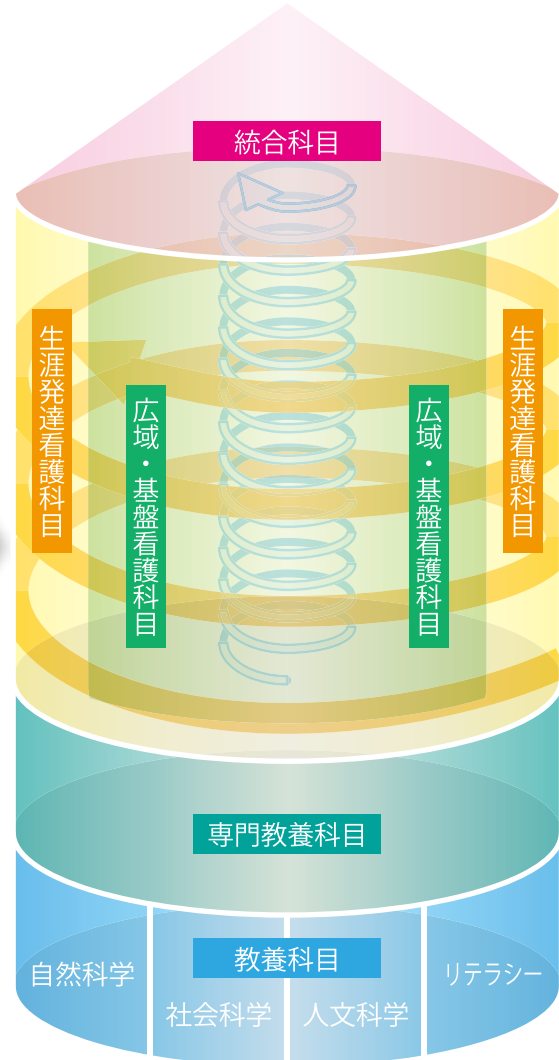
生涯発達看護科目は、一人の人間が生を受けてから死ぬまでの生涯にわたる各発達段階、すなわち周産期、小児期、成人期、老年期の各期にある対象の特徴に応じて、家族も含めて適切な看護を実践する能力を養う科目群である。

広域・基盤看護科目

広域・基盤看護科目は、看護実践の基礎として、またあらゆる発達段階の人々の看護に共通して必要な知識・技術・態度を学ぶ科目群である。また、多様な生活や治療・療養の場における多様な対象者に健康へのアプローチを、身体的・精神的・社会的な側面から看護を実践する能力を培う。また、家族・集団を加えたコミュニティの特徴を学び、場と対象に応じた看護を実践する能力を培う。

専門教養科目

専門教養科目は、保健看護をより広く、科学的に学習していく準備として習得せねばならない科目群から構成されている。これらの科目は看護学周辺領域の学問、すなわち医学、保健学、社会学、心理学、リハビリテーション等の基礎的知識や技術であり、人間の健康を身体的・精神的・社会的な側面から多面的に捉え、科学的根拠に基づく判断力を養う科目群である。また、地域社会における健康を論理的に思考するために活用される知識・技術も学習する。



教養科目

教養科目は、広く人間を理解する科目、自然現象を理解する科目、社会のしくみを理解する科目、及び生命の尊厳を尊重する科目で構成され、幅広く学問を学ぶことにより、社会に求められる市民にふさわしい知性と感性を高め創造力を養う科目群である。また、沖縄の歴史、文化、芸能などを通して人間のおかれた地理的文化的特性を理解するとともに、情報化社会や国際社会に対応できるように学際的学びの基礎をつくる。

教育科目の年次配置

学年	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
学期	前期	前期	前期	前期
学期	後期	後期	後期	後期
学年	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
教育科目	生物学(選択) 化学(選択) 数学(選択) 沖繩の生活と文化 哲学(選択) 心理学 文学(選択) 歴史学(選択) 英語 I 看護大学ゼミナール I	地理学(選択) 環境学(選択) 社会学(選択) 経済学(選択) 情報学(選択) 教育学(選択) 英語 III (選択) 中国語 I (選択) スペイン語 I (選択)	法学(選択) 保健医療福祉制度 身体活動論(選択) 機能演習 II リハビリテーション論	精神保健看護演習 周産期保健看護演習 小児保健看護演習 成人保健看護演習 看護大学ゼミナール III ウィメンズヘルスサイエンス (選択)
教養科目	生涯人間発達論 生活援助・療養援助技術 I 保健医療情報演習 人体の構造と機能演習 I 栄養と代謝 微生物と免疫 臨床心理	ヘルスアセスメント 生活援助・療養援助技術 II 精神保健看護 I 地域保健看護 I 周産期保健看護 I 小児保健看護 I 成人保健看護 I 老年保健看護 I 病態生理	生活援助・療養援助技術 III クリティカル・緩和ケア論 精神保健看護 II 地域保健看護 II 地域保健看護 III 周産期保健看護 II 小児保健看護 II 成人保健看護 II 老年保健看護 II 保健医療福祉制度 身体活動論(選択) 機能演習 II リハビリテーション論	精神保健看護演習 周産期保健看護演習 小児保健看護演習 成人保健看護演習 看護大学ゼミナール III ウィメンズヘルスサイエンス (選択)
専門関連科目	実習 第 1 段階 早期体験実習	地域保健看護実習 I 老年保健看護実習 I 生活援助・療養援助技術実習 精神保健看護実習 I 周産期保健看護実習 I 小児保健看護実習 I 成人保健看護実習 I	生活援助・療養援助技術実習 精神保健看護実習 II 周産期保健看護実習 II 小児保健看護実習 II 成人保健看護実習 II	第 2 段階 クリティカル・緩和ケア実習 老年保健看護実習 II 産産実習 I (選択)
第 1 段階	実習 第 1 段階 早期体験実習	生活援助・療養援助技術実習 精神保健看護実習 I 周産期保健看護実習 I 小児保健看護実習 I 成人保健看護実習 I	生活援助・療養援助技術実習 精神保健看護実習 II 周産期保健看護実習 II 小児保健看護実習 II 成人保健看護実習 II	第 2 段階 クリティカル・緩和ケア実習 老年保健看護実習 II 産産実習 I (選択)
第 2 段階	地域保健看護実習 I 老年保健看護実習 I 生活援助・療養援助技術実習 精神保健看護実習 I 周産期保健看護実習 I 小児保健看護実習 I 成人保健看護実習 I	生活援助・療養援助技術実習 精神保健看護実習 II 周産期保健看護実習 II 小児保健看護実習 II 成人保健看護実習 II	生活援助・療養援助技術実習 精神保健看護実習 III 周産期保健看護実習 III 小児保健看護実習 III 成人保健看護実習 III 看護大学ゼミナール III ウィメンズヘルスサイエンス (選択)	第 3 段階 クリティカル・緩和ケア実習 老年保健看護実習 II 産産実習 I (選択)
第 3 段階	地域保健看護実習 II 在宅保健看護実習 看護総合実習 講義演習	生活援助・療養援助技術 III クリティカル・緩和ケア論 精神保健看護 II 地域保健看護 II 地域保健看護 III 周産期保健看護 II 小児保健看護 II 成人保健看護 II 老年保健看護 II 保健医療福祉制度 身体活動論(選択) 機能演習 II リハビリテーション論	精神保健看護演習 周産期保健看護演習 小児保健看護演習 成人保健看護演習 看護大学ゼミナール III ウィメンズヘルスサイエンス (選択)	第 4 段階 地域保健看護実習 II 在宅保健看護実習 看護総合実習 講義演習
第 4 段階	地域保健看護実習 II 在宅保健看護実習 看護総合実習 講義演習	生活援助・療養援助技術 III クリティカル・緩和ケア論 精神保健看護 II 地域保健看護 II 地域保健看護 III 周産期保健看護 II 小児保健看護 II 成人保健看護 II 老年保健看護 II 保健医療福祉制度 身体活動論(選択) 機能演習 II リハビリテーション論	精神保健看護演習 周産期保健看護演習 小児保健看護演習 成人保健看護演習 看護大学ゼミナール III ウィメンズヘルスサイエンス (選択)	第 4 段階 地域保健看護実習 II 在宅保健看護実習 看護総合実習 講義演習

沖縄県立看護大学の特色ある科目

01

早期体験実習

看護実践の場または地域において、看護職者の仕事を観察し、自由に対話する中から、また看護を必要としている人々やその他の医療従事者・関連職種との対話から、さらに学生同士の討論や役割モデルとなる看護職者の口演などを通して、看護という職業の意義や社会における期待、必要性、そして今後の職業的準備のあり方について学習する。



公立久米島病院にて



久高島にて

02

島嶼保健看護

島嶼で生活する人々及び地域全体を、地理、歴史、文化、経済、保健医療福祉制度などの視点から総合的に捉え、島嶼の保健・医療・看護の現状と課題を理解する。また、事前学習をもとに離島訪問を行い、地域住民・関係者へのインタビュー、地区踏査を踏まえ島嶼の地域特性を活かした看護職者の役割を考察し、今後の看護実践に役立てる。

03

国際保健看護

グローバルな視野から諸外国の地理的環境、歴史、文化、経済、教育、保健医療の現状と人々の生活を理解し、国内外に在住する外国人の背景と現状を理解する。それらを踏まえて健康に影響を与える要因および保健医療福祉が果たす役割について考察できる。



JICA 沖縄国際センターにて

04

看護大学ゼミナールI

学生が身近に感じている問題を取り上げ、その解決に主体的に取り組む過程を通して、自らを総合的に振り返り、客観的に自分の強みと弱み、そして能動的学習能力に気づく。また、問題の発見と解決のための必要なあらゆる情報収集、図書・文献検索、論文読解、報告書作成、そしてチームワークの基本を学ぶ。この科目は少人数制教育により行い、情報リテラシーを身につける。



沖縄県立看護大学にて

看護学部 Q&A

Q1 入学料はいくらですか？

入学料は、沖縄県内居住者は282,000円、その他の者は512,000円となっています。

Q2 授業料はいくらですか？

授業料は、年間535,800円で、前期と後期に分けて徴収します。その他に、教科書代が約5～6万円(1年間)、後援会費が5万円(4年間)、入学時に同窓会費2万円などが必要です。

Q3 入学料や授業料の減免について

天災その他不慮の災害により学費の負担に堪えられなくなった方や生活保護法により保護を受けている方等は、減免制度を利用することができます。詳細は学務課へお問い合わせください。

Q4 奨学金について

奨学金は、人物・学業優秀な学生が、経済的理由により就学困難と認められる場合に、学資として貸与される制度です。独立行政法人日本学生支援機構、地方公共団体、病院等の奨学金、修学資金の制度があります。詳細は学務課へお問い合わせください。

〈例〉独立行政法人日本学生支援機構

第一種奨学金：無利子貸与月額

(30,000円、45,000円〈自宅〉、51,000円〈自宅外〉)

第二種奨学金：有利子貸与月額

(30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円から選択)

※卒業後、返還の義務があります。

Q5 特別選抜の推薦について一般・地域・社会人別に人数の枠があるのですか？

特別選抜試験は、一般推薦、地域推薦、社会人特別選抜の3形態ありますが、入学定員は3形態まとめて20人となっており、入試区分毎の定員は設定していません。

Q6 看護大学と看護専門学校との違いは何ですか？

看護大学では4年間の大学教育を受けることにより学士(看護学)の学位が授与され、看護の専門基礎をしっかりと培うことができます。一方、看護専門学校の修学期間は3年間です。看護師国家試験受験資格の取得においては変わりませんが、大学4年間で保健師国家試験受験資格の取得、及び選択により助産師国家試験受験資格が取得できます。

Q7 就職率はどれくらいですか？

平成25年度卒業生の就職率は94.7%です。

Q8 卒業生の進路はどのようになっていますか？

平成25年度卒業生75人の進路は、看護師63人(84.0%)、保健師4人(5.3%)、助産師3人(4.0%)、進学3人(4.0%)、その他2人(2.6%)です。

別科助産専攻 Q&A

Q1 入学料及び授業料はいくらですか？

看護学部と同額です。

Q2 奨学金について

沖縄県看護師等修学資金(例 第一種修学資金月額32,000円)、沖縄県看護協会奨学金(例 月額26,000円)等があります。

Q3 別科助産専攻とは何ですか？

看護師の資格を有する者が助産師国家試験受験資格を取得するために、入学試験を受けて1年間学びます。入学定員20人(女子のみ)です。

Q4 試験の方法はどのようになっていますか？

推薦選抜、社会人特別選抜、一般選抜の3形態の試験区分があり、募集人員は推薦選抜5人、社会人特別選抜5人、一般選抜10人となっています。

Q5 県外の病院に勤務する看護師は、推薦選抜、社会人特別選抜を受験できますか？

受験することはできません。出願資格が推薦選抜は県内の産婦人科病院・診療所に3年以上勤務し施設長の推薦が必要となっています。また、社会人特別選抜は現在県内の医療施設等で修業している者となっています。

資格取得要件と国家試験合格率

資格取得要件

	看護大学	看護専門学校
取得可能資格	<ul style="list-style-type: none"> ● 看護師国家試験受験資格 ● 保健師国家試験受験資格 ● 助産師国家試験受験資格 <small>* 助産師課程がある大学において所定の科目を履修した場合</small> <ul style="list-style-type: none"> ● 保健師資格を取得し、所定の科目を履修した者は申請により養護教諭一・二種免許が取得可能※ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 看護師国家試験受験資格 (保健師・看護師統合カリキュラム校は保健師国家試験受験資格も取得可能)
修業年限	4年	3年 (定時制、統合カリキュラム校の場合は4年)
卒業までの単位数	124単位以上	93単位以上 (統合カリキュラム校の場合は111単位)
修了者に対する称号	学士	学校によって 専門士の称号が付与される
学位取得と 大学院への進学	<ul style="list-style-type: none"> ● 学士の学位取得可能 ● 大学院への進学可能 	<ul style="list-style-type: none"> ● 合計124単位以上を履修すれば「大学評価・学位授与機構」により学士の学位取得可能 ● 大学院への進学可能

* 沖縄県立看護大学の場合は、卒業に必要な130単位以上、助産師の国家試験受験資格を得るためには、加えて20単位の履修(履修できるのは一部の学生のみで選考により決定される)が必要です。※但し、本学は養護教諭二種免許が取得可能です。

国家試験(看護師、保健師、助産師)合格状況の推移

平成14年度卒業生(1期生)～平成26年度卒業生(13期生)

平成27年4月1日現在
(単位:人)

【看護学部】

実施年度	期	看護師				保健師				助産師			
		受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(本学)(%)	合格率(全国)(%)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(本学)(%)	合格率(全国)(%)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(本学)(%)	合格率(全国)(%)
平成14年度	1期生	71	70	98.6	92.6	71	66	93.0	91.5	9	9	100.0	89.2
平成15年度	2期生	80	75	93.8	91.2	80	69	86.3	92.8	4	4	100.0	92.6
平成16年度	3期生	79	77	97.5	91.4	79	71	89.9	81.5	7	7	100.0	99.7
平成17年度	4期生	78	76	97.4	88.3	79	65	82.3	78.7	5	5	100.0	98.1
平成18年度	5期生	79	77	97.5	90.6	78	78	100.0	99.0	10	10	100.0	94.3
平成19年度	6期生	81	79	97.5	90.3	81	76	93.8	91.1	10	9	90.0	98.1
平成20年度	7期生	74	68	91.9	89.9	74	72	97.3	97.7	7	7	100.0	99.9
平成21年度	8期生	74	72	97.3	89.5	74	60	81.1	86.6	5	5	100.0	83.1
平成22年度	9期生	78	78	100.0	91.8	78	76	97.4	86.3	10	9	90.0	97.2
平成23年度	10期生	77	75	97.4	90.1	77	74	96.1	86.0	10	10	100.0	95.0
平成24年度	11期生	83	81	97.6	88.8	83	81	97.6	96.0	10	10	100.0	98.1
平成25年度	12期生	75	73	97.3	89.8	75	72	96.0	86.5	8	8	100.0	96.9
平成26年度	13期生	78	76	97.4	95.5	78	78	100	99.6	9	9	100	99.9
合計		1007	977	97.0	90.8	1007	938	93.1	90.3	104	102	98.1	95.5

平成27年度行事

4

APRIL

入学式

▶ 4月3日(金)

前期授業開始

▶ 4月6日(月)



入学式

5

MAY

渡嘉敷研修

▶ 5月9日(土)~
10日(日)

開学記念

▶ 5月15日(金)



オープンキャンパス

6

JUNE

オープンキャンパス

▶ 7月25日(土)



7

JULY

夏季休業

▶ 8月15日(土)~
9月30日(水)

海外研修セミナー
(ハワイ)

▶ 8月16日(日)~
9月3日(木)



海外研修セミナー(ハワイ)

8

AUGUST

9

SEPTEMBER

大学院入試

▶ 9月5日(土)

第15回看大祭

▶ 9月12日(土)・13日(日)



看大祭

楽しいサークル みんなイキイキ
キャンパスライフ!



美ら笑ば〜

障害や病気をもつ子どもたちとその家族が遊びを通して多くの人とふれ合い、様々な体験をすることで喜びや楽しさを感じることができるよう支援しています。



学生ちゃんぷる〜

私たちは、学生と教員みんなで仲良くなることをモットーに、映画鑑賞・学生と教員の交流会・研修の企画(離島・県外)等を行っています。また、看護学生コンソーシアムとして、他の大学生との交流・企画を行っています。



性・命の達人 キラリサークル

平成22年度から活動しています。妊娠・出産、性感染症、避妊、デートDVなどに関する展示物や体験コーナーを通して、近隣大学や中学、離島など地域に情報発信するサークル活動を展開しています。



バドミントンサークル

皆でバドミントンをしながらか交流を図ったり、ストレスを発散することを目的に活動しています。ほとんどが初心者なので気軽にご参加ください。



筋トレサークル

筋肉量の増加によって基礎代謝が促進され、カロリーを消費しやすい身体を手に入れる事が出来ます。また、有酸素運動によって脂肪が燃焼されます。つまりモチです。



茶道サークル

週に何回か学内で活動しています。お茶の作法を学んだり、お茶を飲みながらみんなで楽しくお喋りしたりしています。ゆったりと活動しているので、気軽に覗きに來てください(＾o＾)

10
OCTOBER

11
NOVEMBER

12
DECEMBER

1
JANUARY

2
FEBRUARY

3
MARCH

後期授業開始
▶ 10月1日(木)

特別選抜入試
(看護学科)
▶ 11月14日(土)

推薦選抜・
社会人特別
選抜入試
(別科助産専攻)
▶ 11月14日(土)

冬季休業
▶ 12月25日(金)
~1月7日(木)

大学入試
センター試験
▶ 平成28年
1月16日(土)・
17日(日)

一般選抜入試
(別科助産専攻)
▶ 2月10日(水)

一般選抜入試
(前期・看護学科)
▶ 2月25日(木)

一般選抜入試
(後期・看護学科)
▶ 3月12日(土)

卒業式
▶ 3月15日(火)

春季休業
▶ 3月15日(火)~
3月31日(木)



バスケットボールサークル

バスケの経験がないメンバーもいますが、皆で仲良く活動しています。モットーは「怪我なく楽しく」です。みなさんぜひ参加して下さい。



バレーボールサークル

バレーの経験がなくても、皆で仲良くワイワイしながら、楽しくバレーが出来ます。球技大会の練習にもなるので、ぜひ参加して下さい!



卒業式



三線サークル

週に1回、午後5時半から三線の練習をしています。メンバーのほとんどが初心者から始めています。☆沖縄の文化に触れてみるいい機会ですよ!



軽音楽サークル

音楽のジャンルにこだわらず楽しく活動しています。それぞれが演奏したい楽器を持ち込んで自由にバンドを組んでいます。看大祭では毎年、ライブ演奏を行っています。



アジア保健医療研究会

主な活動内容は、世界で活躍している専門家による講演会の開催。海外で活躍した学生の報告会などを通して、国際保健医療に関する理解を深めます。



マラソンサークル

あやはしハーフマラソンや伊江島一周ハーフマラソン、那覇マラソンそしておきなわマラソンなど一年を通してさまざまなマラソンにみんなで楽しく参加しています。



野球・球技サークル

月3回程度、奥武山サブグラウンドで練習や試合を行っています。マネージャーもいますので男女関係なくご参加下さい。



スポーツ全般サークル

通称「スポサ」は、看護大学のサークルの中で一番参加人数が多く、スポーツだけでなく鬼ごっこ、かくれんぼなど様々な遊びを通して学年を問わず学生同士が仲良くなれます!

在学生からのメッセージ



2年次
安藤 胡桃
(平成26年度入学)

私は、人と関わることが好きで人の支えになりたいと思い、看護師になるという道を選び、せっかく目指すのならより専門的な知識や技術を学べる方が良いと考え、沖縄県立看護大学に進学しました。

本学は看護学科のみの単科大学のため学生数は少ないです。だからこそ同学年のみならず、先生や先輩と話す機会も多く、より沢山のことが深く学べます。授業ではグループ学習が多く、自分の意見を伝えることが求められる

ため積極性が育まれます。さらに自分とは異なる価値観に触れる機会が増え視野も広がります。新入生歓迎球技大会・渡嘉敷島研修・看大祭などの行事も多くあり、行事では学年の絆を深めると共に、先輩との交流もあります。先輩方は優しく面白い方ばかりで、学生生活やテスト・実習についてなど色々なことを教えてくれます。

忙しくて大変なこともあります。仲間と助け合い切磋琢磨しながら将来の目標に向かって学ぶ日々は充実して楽しいです。



4年次
朝倉 成子
(平成24年度入学)

私が看護師になりたいと思い始めたのは保育園の頃です。成長するにつれて医療への興味関心が高まり、「看護師として患者さんの支えになりたい」という思いを胸に沖縄県立看護大学へ入学しました。入学と同時に県外から沖縄へ来て、初めは不安でいっぱいでしたが、単科大学ということもあり同じ夢を持つ仲間や、真剣に向き合ってく

くださる先生方のおかげで日々楽しく、充実した学生生活を送っています。入学当初は将来への具体的なイメージは曖昧でしたが、講義や実習などを通して“看護師としてやりたいこと”を見つけることができ、様々なことに興味関心がわき勉強したいことが増えました。夢を諦めずに、この沖縄県立看護大学で一緒に看護師を目指しませんか。

充実した教育と快適な学生生活をサポートする

◆◆ 学生支援・進路情報 ◆◆

1. 修学に関する支援

- 修学相談：担任制を導入し、修学を含め学生生活全般における個別相談に対応しています。
- 国家試験対策講座の開催（8月、12月、1月） ● 異学年との交流

2. 学生生活に関する支援

- 学年別ガイダンスの開催：毎年4月にガイダンスを実施し「学生生活の心得」を配付し学生生活に必要な情報提供を行っています。

3. 進路・就職に関する支援

- 「進路決定への手引き」を配付し、就職セミナー開催や進学に関する情報提供を行っています。

4. 心身の健康に関する相談

- 心身の健康相談：保健室では健康相談の窓口として健康増進、疾病予防をすすめています。また、スクールカウンセラーを導入し、学生の心身の健康のサポートを行っています。



3・4年次交流会

出身都道府県別在籍者数

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	
男																	
女				1		1				1				1			
小計				1		1				1				1			
	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	計
男												1					
女										1	1	3					
小計										1	1	4					
	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	その他	
男		1													1	36	39
女								2	1	6		2		2	264		286
小計		1						2	1	6		2		3	300		325

平成27年4月現在

年次別・県外県内別・在籍者数

	県内	県外	男	女	小計
1年次	72	9	11	70	81
2年次	73	8	9	72	81
3年次	79	3	10	72	82
4年次	76	5	9	72	81
計	300	25	39	286	325

平成27年4月現在

平成27年度入試形態別入学者数（受験者数・受験倍率）

募集区分	定員	入学者						受験者	
		入学者数	男	女	県内	県外	受験者数	倍率	
一般選抜	前期日程	50	51	8	43	45	6	109	2.2
	後期日程	10	9	0	9	7	2	48	4.8
特別選抜	一般推薦	20	18	2	16	18	0	34	2.7
	地域推薦		1	0	1	1	0	4	
	社会人特別選抜		1	0	1	1	0	15	
計	80	80	10	70	72	8	210	2.6	

卒業生からのメッセージ



看護師

宇地原 大海

国立がん研究センター東病院勤務
(8期生)

私が沖縄県立看護大学を卒業し、がん専門病院で看護師として働き出して五年が経とうとしています。当院では、早期がんの治療から終末期がん患者へのケアまで、幅広い医療・看護の提供が行われています。患者・家族はがん以外の健康上の問題を抱えていることも多く、新たな発見や葛藤に直面する日々を過ごしています。

私のがん看護を志したきっかけは、在学中の病院実習で緩和ケアチームの活動に参加させて頂いたことです。患者に寄り添う緩和ケアの中でも、より患者の生活に関わる場面が多い看護師の役割の重要性を実感し、自分にも何かできることはないかと考えるようになりました。

大学は皆さんが主体となって学びを得る場所です。沖縄県立看護大学には知識、経験共に豊富な先生方がおり、きっと皆さんの疑問や悩みを解決するための助けとなってくれると思います。

みなさんも是非、沖縄県立看護大学で看護師としての第一歩を踏み出してみませんか。



保健師

儀間 五紀

糸満市役所社会福祉課勤務
(7期生)

私は沖縄県立看護大学を卒業後、市保健師として勤務しています。在学中、実習でたくさんの方と関わるなかで「この疾患は予防出来たかもしれない。予防出来ていたら、もっと違った生活があったかもしれない」と感じることもあり、予防に携わる仕事がしたいと思い保健師を目指すようになりました。

保健師として勤務して6年目になりますが、自分が思ったとおりに支援が出来たと感じることは少なく、自分の未熟さを感じながら、とにかく先輩・上司と相談し一生懸命考え行動するしかありません。そんな時、「あなたに相談してよかった」と笑顔になってくれる人がいます。そのときに保健師になって本当に良かったと思います。

大学と一緒に勉強した同期、そして研究室の先生は今でも悩んだときの一番の相談相手です。大学で、同じ夢を持って一緒に学べたことが大きな支えになっています。



助産師

橋本 恵里子

沖縄県助産師会母子未来センター勤務
(7期生)

私は、病院勤務を経て昨年3月より沖縄県助産師会母子未来センターに勤務しています。助産所での業務は、フリースタイルでのお産をはじめ母乳相談、赤ちゃん訪問、子育て相談等です。妊娠から出産、子育てまで継続的に寄り添える支援がしたいという学生の時から希望が叶えられ、充実した毎日を送っています。

私にとって沖縄県立看護大学での4年間は財産です。今があるのは、実習先で出逢った目標となる先輩方、実習での体験や先生方からのアドバイスのおかげです。

4年間で、「学生の立場だからこそできる」体験をたくさんすることを私はお勧めします。実習先でも、「実習生だからこそできる」患者さんへの支援があります。辛いと思う授業も、学生生活での仲間との交流もすべての体験が皆さんの財産になり、将来、看護の仕事に深みを持たせてくれます。よく学び、よく遊び、充実した学生生活を送って下さい。



養護教諭

金城 祥子

宮古島市立久松中学校勤務
(7期生)

私は沖縄県立看護大学を卒業後、県外の一年課程で養護教諭一種免許を取得できる学校へ進学しました。その後、県内の高等学校で養護教諭として3年間勤務し、現在は宮古島の中学校で勤務しています。

養護教諭は救急処置だけでなく生徒達の心や体の悩み相談、クラスに入っていく保健指導、学校内外の連携役…等々、多様な役割があります。毎日、子ども達と笑ったり怒ったりと慌ただしい日々ですが、そのような中で子ども達の言葉にハッとさせられる時があります。ある時生徒が、『保健室の先生が忙しい、忙しいって言っていたらみんな相談しにくいよ』と発した言葉はとても印象的でした。私は自分の忙しさにかまけて生徒の小さなサインを見逃すところだったと反省しました。大学の仲間や職場の先輩方からも多くの事を学びましたが、今は子ども達からたくさんのお話を学ばせてもらっています。

医療や保健分野で働くということは常に人と関わるということです。だからこそ、大学の授業や実習を通して多くの人と出会い、たくさん学び、自分の目標に向かって楽しみながら頑張りたいと思います。

平成26年度卒業生(13期生)の就職・進学状況

●就職		県内		県外	合計
		数	割合	数	割合
1. 看護師	国公立	25	73.5%	9	34
	その他	18		16	34
	計	43		25	68
2. 保健師	国公立	2			2
	その他				
	計	2			2
3. 助産師	国公立				
	その他				
	計				
4. 養護教諭	国公立				
	その他				
	計				
5. 未定	国公立				
	その他				
	計				
6. その他	国公立				
	その他				
	計				
小計		45	(64.3%)	25	(35.7%)
●7. 進学	国公立	2		2	4
	その他				
	計	2		2	4
●8. 未定・未確認		-		-	4
●合計					78

(卒業予定者78名)

単位：人

平成27年3月27日現在

○主な就職先など

卒業予定者78名

◆進学(4名)

沖縄県立看護大学別科助産専攻(2)、熊本大学養護教諭特別別科(2)

◆就職(70名)

県内(45名)

琉球大学医学部附属病院(9)、沖縄県立病院(14)、沖縄赤十字病院(7)、那覇市立病院(2)、中頭病院(2)、南部徳洲会病院(3)、中部徳洲会病院(2)、浦添総合病院(1)、ハートライフ病院(2)、中部協同病院(1)、沖縄県庁(1)、宜野座村役場(1)

県外(25名)

日本赤十字社医療センター(1)、神奈川県立こども医療センター(2)、医療社団法人高邦会高木病院(1)、新松戸中央総合病院(1)、湘南鎌倉総合病院(2)、北里大学病院(3)、横浜南共済病院(1)、大阪赤十字病院(4)、兵庫県立淡路医療センター(1)、国立病院機構 神戸医療センター(1)、国立がん研究センター東病院(1)、兵庫県立尼崎病院(1)、医療法人宏和会 あさい病院(1)、福岡市立こども病院(1)、九州大学病院(1)、千葉西総合病院(1)、日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院(1)、千葉県済生会習志野病院(1)

大学院

保健看護学研究科

- ・博士前期課程では、広い視野に立って看護における高度なケアの実践や教育のできる専門的能力を養う、又は学識を深めることによって研究能力を養うことを目的とする。
- ・博士後期課程では、看護分野における研究者として自立した研究活動を行うのに必要な研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養うことを目的とする。

大学院 Q&A

Q1 カリキュラムについて教えてください。

博士前期課程と博士後期課程には、保健看護管理・教育、地域・精神保健看護、母性・小児保健看護、成人・老年保健看護、新領域保健看護、島嶼保健看護の6領域があります。所定の科目の単位を取得して論文の審査に合格すれば修士（看護学）、または博士（看護学）の学位が得られます。また博士前期課程では精神看護、慢性看護、老年看護、がん看護、小児看護の5つの専門看護師のコースがあり、修了時に専門看護師受験資格が得られます。

Q2 授業料について教えてください。

授業料は1年間535,800円（平成27年度）です。長期履修制度があり、標準修業年限での履修が困難な場合に博士前期課程で2年分の学費で3年間、博士後期課程では3年分の学費で4年間かけて履修することが可能です。授業料の減免や奨学金制度もあります。

Q3 最終学歴が看護専門学校卒なのですが、大学院を受験することはできますか？

受験できます。但し受験資格の審査を受けていただく必要がありますので、募集要項をご確認の上、所定の期間内に手続きを行ってください。

Q4 働きながら学ぶことはできますか？

可能です。社会人が学びやすい環境を整備するため、博士前期・後期課程においては昼夜開講制を導入しており、月曜～金曜日の6・7時限（17:40～20:50）及び土曜、日曜日の1～5時限（8:40～17:30）に開講しています。

Q5 離島で勤務している場合でも大学院で学ぶことはできますか？

本学と宮古島市（宮古島教室；県立宮古病院内）、石垣市（石垣島教室；県立八重山病院内）、久米島町（久米島教室；公立久米島病院内）を結ぶITを利用した遠隔講義システムが整備されています。同時・双方向で映像や音声データの通信が可能で、講義を受けることができます。

Q6 受験に際し、専門分野が決まっていない場合、どのように相談すればよいですか。

進学説明会（6月）やオープンキャンパス（7月）で、個別の説明会を開催しています。また、学務課（TEL:098-833-8800）では随時相談を受け付けていますので、お問い合わせ下さい。

教育研究分野・領域の概要

分野	領域	博士前期課程	博士後期課程
文化間保健看護	保健看護管理・教育	<p>特定「文化」をキーワードとしてマクロレベルでの新興感染症への対策、ミクロレベルでの生活習慣と価値観の異なる人々の健康生活に向けた管理的貢献、プライマリー・ケアを重視した行政的施策と費用効果、病院・病棟の疾病管理と人々の健康管理など実践的看護管理活動を分析・評価し、複雑化した課題に対応できる卓越した実践家、教育研究者養成に必要な能力の向上を図る。</p> <p>看護を取り巻く社会や科学の発達に対応して変化・発展する看護観及び看護技術が、看護者個々や集団においてどのように形成され修得されるかを学ぶ。さらに、看護基礎教育及び現任教育における教育方法の開発、看護実践における看護者の教育能力開発の方法を探究し、看護基礎教育の担い手である人材の育成や保健看護分野における実践者の教育指導能力の向上を図る。</p>	<p>文化間保健看護の立場から、特定「文化」の枠組に基づき国境を越えて個人、地域、国レベルで健康上の問題解決、新しい保健看護管理の探求、また、通文化的、あるいは特異的ヘルスケア評価、公的サービスと調整、看護ケアのコスト及びコスト効果分析（ケアの結果と質の測定）など高いレベルの分析・評価と対応策を探究する。</p> <p>保健看護実践および教育が多様な文化の影響を受けながら発展すると共に、文化へも影響を与えることを前提にした広い視野を持つ、高いレベルの保健看護教育の実践者および看護学の発展に寄与する人材育成に関する理論を探究する。</p>
	地域・精神保健看護	<p>地域社会及びハイリスク集団を対象とした施策、計画、実施、結果、評価について学習する。また、ミクロのレベルでは地域で健康上のリスク者への保健看護実践、ヘルスプロモーション、健康教育（疾病教育）などにおいて適切な研究的アプローチを行い、最近の知識を応用し、問題解決のためリーダーとなる能力の向上を図る。</p> <p>精神保健相談時の受理面接、コンサルテーションなど専門的技術を身につけ、また、サービスの質向上のために先行研究結果を実践に応用し、活躍する実践家、あるいは教育研究者となる能力の向上を図る。また、専門看護師（精神看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>上級管理者など、より高度な立場から実践活動に従事、複雑な研究テーマへの取り組み、博士前期課程の教育を行う教育者、あるいは自立した研究者として新たな学術的発展を図る。</p> <p>文化的枠組みで人々のメンタルヘルスおよびリスク者や集団のための法律・政策、条例の制定などにより高度な学術的観点から提言、同時に学術的、教育的貢献を図る。</p>
生涯発達保健看護	母性・小児保健看護	<p>卓越した専門家として病院・地域で妊産婦や新生児及び家族に高度な専門的ケアの提供、母性の問題解決のため学術的チームの調整的役割、リプロダクティブ・ヘルス/ライフへの適切な支援の提供、ハイリスク女性・妊婦・新生児の評価と支援、実践的専門家としての指導者、あるいは教育研究の能力の向上を図る。</p> <p>高度な専門看護職者として、それぞれの職場の保健看護システムの中で小児保健看護上の課題を認識し、質の高いケア提供を計画、実施、評価し、指導的役割を果たし、また、疾病の有無にかかわらず子どもの発達状態の評価と支援技術、ケア提供の医療環境/制度に関する実践可能な好ましい方策実施を図る。また、専門看護師（小児看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>母性保健看護及び助産に関して、生涯発達の視野に立ち課題をみつめ、実践・分析、評価、統合し、知見創出により実践的及び教育的、学術的に母性の健康と看護学の発展を図る。</p> <p>子どもと家族の健康上の課題の解決に既存の研究結果を応用、新たな研究課題の発見、計画・実施・評価し、新しい実践的、学術的、教育的貢献を図る。</p>
	成人・老年保健看護	<p>成人期のヘルスプロモーション、健康政策、疾病予防、リスク軽減及び急性期・慢性期の高度なケアの実践と改善、学術的・研究的活動、また、医療システムと成人期患者ケアの質の分析と評価、中間管理職のレベルで看護の質の向上を図る。</p> <p>また、専門看護師（慢性看護・がん看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p> <p>老年保健看護領域で、直接的なケアプランの作成と提供、ケア提供チームにおける看護実践と管理、ケアの評価と統合・調整できる老年保健看護専門職者、同時に研究能力の向上を図る。</p> <p>また、専門看護師（老年看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>特に遠隔教育などの積極的活用によって他職種と連携し、上級管理職のレベルで医療・保健機関の管理、教育的機関での教育的活動、また、複雑なケース・マネージメントの実践、高度な学術的、教育的貢献を図る。</p> <p>高齢者のケアの質とQOL向上に向けて年代、時代にふさわしい新たな研究と知の創造をめざし、看護職の立場から方法、技法の開発、実践現場への支援、自立した教育研究による学術的貢献を図る。</p>
先端保健看護	新領域保健看護	<p>上記特定の領域に分類できない、あるいは共通する新たな看護上の課題解決方法、技術、看護上の新たな課題への研究的アプローチ、例えば臓器移植看護とそのコーディネーターとしての役割、遠隔保健看護の実践・教育研究に必要とされる知識と技術などの向上を図る。</p>	<p>保健看護上に新たに生じた課題を解決するために学術的、国際的に必要な情報を収集し、分析し、課題解決の計画、実施、評価を行い、看護実践における質の向上を図る。また、各領域に共通する新たな課題をみつけ解決する先端的研究方法の開発及び教育的貢献によって人々の健康上の新たなニーズへの対応策を探究する。</p>
	島嶼保健看護	<p>島嶼看護の高度な実践ならびに実践的教育ができる看護指導者を育成する。保健・医療・福祉専門職者が少ない島嶼地域において、看護職者が果たす役割は大きい。特に保健医療福祉、教育・行政などの幅広い他職種ケア連携・協働による保健医療福祉活動を通して、島嶼住民の生活文化に根ざした看護を実践できる高度な島嶼看護専門能力を育成することを旨とする。</p> <p>また、包括的専門看護師に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>国内外の島嶼看護上の課題を解決するために学術的、国際的に必要な情報を収集・分析し、課題解決の計画、実施、評価を行い、島嶼看護実践における質の向上を図る。また、島嶼保健看護に関する新たな課題をみつけ解決する方法の開発及び教育的貢献によって人々の健康上のニーズに対応する新たな対応策について探索する。</p>

大学院生の紹介



博士前期課程
先端保健看護分野
島嶼保健看護領域
実践島嶼保健看護
折戸 雅恵

私は現在公立久米島病院で勤務しています。出身は愛知県です。看護学生の頃より、沖縄県の離島医療に関心があり、離島診療所見学などをして、異文化での看護活動に興味を抱きました。卒業後は、地元の総合病院で3年間働いたのち、沖縄県立八重山病院へ就職しました。その後、公立久米島病院へ転勤となり、現在に至っています。

島嶼地域での看護臨床経験が10年を超え、自分自身の中でも一区切りの感があり、さらに学びたいと考えながらも、離島からの進学や大学院の壁の高さを感じ、一步を踏み出せない状況でした。そんな中、上司が強く背中を押してくれたこと、離島で働きながら学ぶ環境を整えてくれたことにより、久米島で働きながら学ぶ環境を得ることができました。

これまで経験してきた事例を振り返り、学ぶ中で、自分の看護観が明確になり、自分自身をより深く理解する機会となっています。また、新しい理論や知識を学ぶことにより、これまでの臨床での看護を違う側面からとらえることができるようになってきたと感じています。同じ職場環境にいながらにして、新しい自分と出会うことができ、新鮮な毎日を経験しています。学ぶことの楽しさを存分に味わっています。



博士前期課程
生涯発達保健看護分野
母性・小児保健看護領域
実践小児看護
城間 聖子

平成20年に沖縄県立看護大学を卒業後、那覇市立病院に就職し、小児科病棟へ配属となりました。経験を重ねることに子ども達が笑顔で退院する反面、悲しい退院も経験しました。入院した子ども達と家族への看護において「症状が改善し子どもの笑顔や家族の安らかな表情がみられて良かった」という安堵と「この子にとって最善の看護だったか?関わり方は正しかったか?」という疑問の間で「より良い看護とは何か」を考えるようになり、そんな頃、学部生の実習指導で病棟に来ていた沖縄県立看護大学の先生から、小児看護専門看護師になるためのコースが母校の大学院で開講されるとの情報を聞き受験、入学に至りました。

大学院での学びはこれまでの実践の強化と看護展開の選択肢の広がりにつながっていると感じます。大学院の仲間とディスカッションし先生方に指導を受けることで、子どもやその家族を支援する多くの視点やスキルを得られていると思います。

3交代の勤務を行いながらの学生生活は、心身ともに辛いものです。でも、同じ目標をもつ学友の存在、職場の仲間や上司の応援、専門看護師を目指した初心が、その辛さを糧に変えてくれています。現在、前期課程の1年目。新たな学びを活かし、子どもと家族の笑顔と安寧を引き出せるよう努力し、専門看護師になるという目標を達成したいです。



博士後期課程
先端保健看護分野
新領域保健看護領域
大城 真理子

私は沖縄県立看護大学の学士課程を卒業後、修士課程を修了し、6年間病院で看護師として勤務をしていました。そんな中、看護師としてやりがいを感じつつも、自分自身の看護実践の中でジレンマを感じるようになり、もう一度しっかりと勉強がしたいという思いから、博士後期課程に進学するに至りました。

現在、大学院では研究方法や研究領域に関する科目を学びつつ、自己の関心のあるテーマについて研究を進めています。研究では、幅広い知識を得るための地道で主体的な学習が求められ、日々、先生方からアドバイスを心得、さまざまな書籍や論文を読み進めています。また、定期的に学外から各分野で活躍されている先生方を招聘しての勉強会なども開催されますので、とても恵まれた環境で学習することができています。

何より、指導して下さる先生方や、共に課題に取り組んでいる大学院生達は豊富な知識や経験と多様な背景を有しており、日々の関わりの中で得られる学びや刺激は大きく、院生生活はとても有意義な時間だと実感しています。

これからは初心を忘れることなく、大学院での学びを社会に還元出来るような看護職者を目指して学び続けていきたいと思いをしています。

● 沖縄県立看護大学大学院年度別入学生状況

(単位:人)

		出身		性別		入学者計
		県内	県外	女性	男性	
平成16年4月入学生 (1期生)	博士前期	5	1	5	1	6
	博士後期	2	0	1	1	2
平成17年 (2期生)	博士前期	5	4	8	1	9
	博士後期	0	2	2	0	2
平成18年 (3期生)	博士前期	6	0	6	0	6
	博士後期	1	1	2	0	2
平成19年 (4期生)	博士前期	7	0	6	1	7
	博士後期	0	2	2	0	2
平成20年 (5期生)	博士前期	5	2	7	0	7
	博士後期	2	1	3	0	3
平成21年 (6期生)	博士前期	8	0	7	1	8
	博士後期	4	0	3	1	4
平成22年 (7期生)	博士前期	9	0	9	0	9
	博士後期	3	0	3	0	3
平成23年 (8期生)	博士前期	6	0	6	0	6
	博士後期	1	1	1	1	2
平成24年 (9期生)	博士前期	8	0	8	0	8
	博士後期	1	0	1	0	1
平成25年 (10期生)	博士前期	9	0	9	0	9
	博士後期	2	0	2	0	2
平成26年 (11期生)	博士前期	11	0	9	2	11
	博士後期	1	1	2	0	2
平成27年 (12期生)	博士前期	6	0	3	3	6
	博士後期	1	0	1	0	1
合 計	博士前期	85	7	83	9	92
	博士後期	18	8	23	3	26



別科助産専攻

別科助産専攻開設の趣旨

沖縄県の新生児死亡率や周産期死亡率、死産率は全国平均と比較して高率であることから、本島内に2カ所の周産期高度医療を担うセンターが開設され、母子医療の改善が図られている。しかし、マンパワー不足に起因する問題が発生している。それは産婦人科医師の不足による公立病院産科の存続の危機、産科病院や診療所の助産師不足による助産および母子へのケア提供不足の状況である。さらに多くの有人離島を抱える本島では、離島妊産婦へも必要な母子保健医療の提供が求められている。これまで本県の産科施設では正常、異常に関わらず妊産婦管理は医師が中心的役割を担っていたが、産科医師不足により、今後は正常な妊産婦の保健管理・助産に助産師の主体的産科が期待されている。

教育目標

- ①沖縄県の抱える課題に応じ、母子の健康を守るとともに、現状を改善する能力を養う。
- ②ライフサイクル各期の女性に対し、母性保健の視点から健康の保持増進の援助ができる能力を養う。
- ③助産師として自律するとともに、他職種との連携やチームアプローチを通し、専門職業人としての沖縄県の母子医療に貢献できる能力を養う。
- ④科学的根拠に基づいた助産ケアが提供できるよう自らを教育できる能力を養う。

カリキュラムの概要

修業年限1年



学生の紹介



別科助産専攻
新垣 美和子

私は母性実習の分娩見学で、命が誕生する素晴らしいと、その命を生かそうと懸命に働きかけている助産師の姿に感動し、「助産師への道」を決意しました。前期では、主に講義と演習で助産の基礎を学びました。実際に地域へ出向き助産師の実践の場の見学も行いました。加えて、離島でのお産の現状や若年妊娠の多い沖縄県での思春期教育のあり方などを学習し、助産師としての役割の大きさを実感しました。後期は3か月間の助産実習。新しい命の誕生に立ち会えた感動と同時に、母子の命を預かるという大きな責任感を感じ、壁にぶつかることもありました。しかし、それ以上に妊産婦さんはじめ多くの出会い、共に同じ夢に向かっている仲間や指導いただいた病棟スタッフの方々の励ましや担当教員の支えがあり、乗り越えることができました。

この1年間での学びを大切に、4月からは助産師として、沖縄県の母子保健医療に貢献していきたいと思っています。

国家試験合格率

実施年度	受験者(人)	合格者(人)	合格率
平成20年度	19	19	100.0
平成21年度	20	15	75.0
平成22年度	19	18	94.7
平成23年度	19	19	100.0
平成24年度	19	19	100.0
平成25年度	20	20	100.0
平成26年度	17	17	100.0
合計	133	127	95.5

平成26年度 主な実習施設

アドベンチスト・メディカルセンター
医療法人がじまるの会糸数病院
医療法人友愛会豊見城中央病院
沖縄医療生活協同組合沖縄協同病院
沖縄県立中部病院
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
沖縄赤十字病院
かみや母子のクリニック
久米島町役場
公立久米島病院
当山産婦人科医院
那覇市立病院

平成26年度 修了生の主な就職先

沖縄県立病院、琉球大学医学部附属病院、
那覇市立病院、沖縄赤十字病院、中頭病院、
名城病院、ハートライフ病院、糸数病院、
豊見城中央病院



地域連携

沖縄県立看護大学では、地域社会との幅広い連携協力や地域の課題への提言などを通じて地域貢献を推進しています。

主な活動として「実習先との協働事業」、「卒業生・修了生、同窓会との協働事業」「近隣地域とのまちづくりの協働事業」、「島嶼地域との協働事業」などがあります。

その中で、「近隣地域とのまちづくりの協働事業」では、与儀小学校区まちづくり協議会の活動へ学生、教員が参加してまちづくりを協働で行っています。また、「島嶼地域などとの協働事業」では、島嶼地域を含む教育機関（小中高等学校）との連携でキャリア教育を通して看護職への関心を持つ機会をつくることを目的に、大学見学、地域保健看護実習などの島嶼地域での臨地実習中に看護大学生による健康教育の実施や教員による出前講座を行っています。

地域

看大祭での地域理解

看大祭で「与儀地域の今昔」と「与儀小学校区まちづくり協議会活動」のポスターで、地域と協議会活動の理解の機会をつくりました。また、学生と住民の手作りによる氷ぜんざい・大福もちを出店しました。



地域

よぎっ子まつりへ参加

与儀小学校区まちづくり協議会の皆さんと、ぜんざい、水風船ヨーヨー、プラバンづくりの準備、販売、片付けを行い、与儀地域の児童、生徒、住民の方々と交流を深めました。



地域

真和志小学校による大学見学

キャリア教育の一環として、真和志小学校と沖縄県立看護大学との協働で小学校6年生の訪問が行われました。看護の仕事や看護職の魅力について学び、体験コーナーでは心臓の音を聴診器で聞き、赤ちゃん（人形）の抱っこや手洗いの方法を体験しました。



地域

島嶼地域での実習を通したキャリア教育

看護学生が竹富小中学校の児童生徒へ「手洗いと病気の予防」などの健康教育と進路についての講話を行いました。終了後、「食前の手洗いの重要性がわかった」、「看護職には保健師、助産師もあることがわかった」などの感想が聞かれました。



国際交流

国際

ハワイ研修

沖縄県立看護大学では、開学3年目の平成13年から毎年夏休みを利用して、ハワイ大学マノア校及びカウアイ・コミュニティ・カレッジで3週間の研修を行っています。研修目的は、英会話によるコミュニケーション能力を高めること、ハワイの保健福祉事情を理解すること、異文化の人々と暮らしについて理解を深めることです。2014年度で研修は14回目を迎え、参加学生の満足度の高いプログラムになっています。



ハワイ研修に参加して
宮城 優希

8月17日から9月5日の20日間、引率教員2名と私達学生19名はカウアイ島(KCC:カウアイ・コミュニティ・カレッジ)とオアフ島(ハワイ大学マノア校)にてハワイ研修を行いました。

KCCではバクテリアや性教育などについて学べただけでなく、フラダンスやロミロミマッサージを通してハワイの心・考え方を感じ取ることができました。また、英語の授業では、一つの事柄に対して様々な表現があること、ボキャブラリーを増やしていくことが英会話力の向上に繋がることを学ぶと同時に、大事なことは伝えようとする心で

あることを教わりました。2日間のホームステイではハワイの暮らしに触れることができました。

ハワイ大学では、シミュレーション施設での実践的な学びやハワイの保健医療制度を学び、そこから改めて日本の制度についてもっと学習していく必要があると考えました。

今回の研修で学んだことを、今後の学習や卒業後に現場で活かし、日本に貢献するだけでなく、海外でも活躍する看護師になりたいと思いました。



国際

JICA 研修受け入れ

平成26年度JICA研修受け入れが6月に本学で行われ、ホンジュラス、ボリビア、パラグアイ、ドミニカ共和国、ウルグアイ、エルサルバドル、グアテマラから11名の研修員を受け入れました。当日は大学紹介、基礎看護講義・演習、助産介助に関する学生への教育プログラム、および4年次学生15名との交流会を実施致しました。このJICA研修プログラムは、研修員が本学での研修を通して日本の看護・助産教育への理解を深め、それぞれの国に帰りましてから現場に還元することを期待して毎年、実施しています。本学は今後も、国際交流および国際協力に貢献できる人材育成に努めます。



充実した教育と快適な学生生活をサポートする 恵まれた学習環境

体育館



アリーナや音響室を備えています。曲線を利用した建物は開放感にあふれ、陽光が館内にいっぱい差し込む明るい雰囲気の中、授業や課外活動を十分に楽しむことができます。

附属図書館



◆蔵書構成 (2015年3月31日現在)

図書の区分	図書・視聴覚資料 冊数(概数)	雑誌	
		日本語雑誌 種数 (紀要含む)	外国語雑誌 種数 (紀要含む)
一般教養	21,361	479	13
医学	16,272	346	70
看護	22,237	603	70
計	59,870	1,428	153

看護系資料の充実は県内随一。ノートパソコンの館内貸出をはじめ、個室・グループ学習室を提供し自主的学習能力を高めています。緑と光満つ庭園を望む環境は快適で明るく、利用したくなる図書館です。開館は、平日8時30分～21時、土日11時～19時。

研究・福利棟



1階には学内食堂、自治会室、クラブ室、書店など学生のための各種施設があります。また、2・3階は教員研究室となっていますが、通常の研究活動のほか、授業での不明な点や学生生活の相談を受けるなど、教員と学生がコミュニケーションを保つための大切な場所です。

教育管理棟



キャンパスの中枢となる建物です。事務部門や講義室、視聴覚室、各種実習・演習室、情報処理学習室、LL教室などを設けています。とりわけ助産実習室のほか、各種の演習室を個別に設けるなど本学の特色を随所に見ることができます。

実習施設一覧（平成26年度）

学部（98施設）

医療機関

- 1 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
- 2 沖縄県立中部病院
- 3 沖縄県立宮古病院
- 4 地方独立行政法人 那覇市立病院
- 5 沖縄赤十字病院
- 6 社会医療法人 敬愛会 中頭病院
- 7 社会医療法人 敬愛会 ちばなクリニック
- 8 医療法人 友愛会 豊見城中央病院
- 9 医療法人 友愛会 南部病院
- 10 沖縄県立 精和病院
- 11 医療法人 卯の会 新垣病院
- 12 平安病院
- 13 公立 久米島病院
- 14 助産院ていだ
- 15 オリブ山病院
- 16 沖縄病院
- 17 医療法人 がじまるの会 糸数病院
- 18 社会医療法人 かりゆし会 ハートライフ病院
- 19 社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院
- 20 沖縄県立 八重山病院
- 21 国立療養所 沖縄愛楽園
- 22 わんぱくクリニック
- 23 沖縄セントラル病院

保健・福祉関連施設

- 24 特定非営利活動法人 ふれあいセンター
- 25 特定非営利活動法人 ワークサポートひかり
- 26 NPO 法人 ふいーどばわー
- 27 NPO 法人 ていーだかんかん
- 28 地域支援ホーム津堅いていの家
- 29 グループホーム やすらぎの家
- 30 グループホーム わかまつ
- 31 小規模多機能型居宅 介護支援事業所 ノア
- 32 那覇市 小禄 老人福祉センター
- 33 那覇市 識名 老人福祉センター
- 34 那覇市 金城 老人憩の家
- 35 那覇市 末吉 老人福祉センター
- 36 那覇市 壺川 老人福祉センター
- 37 日赤安謝福祉複合施設（老人憩の家）
- 38 グループホームたかまーみの家
- 39 医療法人 HSR 名嘉村クリニック 在宅ケアセンター
- 40 若松 きたなかぐすく
- 41 訪問看護ステーションみやこ
- 42 一般財団法人 沖縄県健康づくり財団
- 43 浦添総合病院健診センター
- 44 沖縄南部療育医療センター
- 45 沖縄中部療育医療センター
- 46 訪問看護ステーションはえばる
- 47 (有) 福祉ネットワーク・やえやま あかゆら
- 48 きゅーぬふから舎 小規模多機能 居宅介護支援事業
- 49 訪問看護ステーションオリブ山
- 50 訪問看護ステーションおもと園
- 51 訪問看護ステーション若松
- 52 訪問看護ステーションなかがみ
- 53 つるかめ訪問看護ステーション
- 54 訪問看護ステーションリズム
- 55 訪問看護ステーションサンライズ
- 56 ふたば訪問看護ステーション
- 57 浦添訪問看護ステーション伊祖
- 58 沖縄県立 南部福祉保健所
- 59 沖縄県立 八重山福祉保健所
- 60 那覇市保健所

検診機関等

- 61 全国健康保険協会 沖縄支部
- 62 北部地区医師会病院 健康管理センター
- 63 中部地区医師会立 成人病検診センター

市町村

- 64 うるま市役所健康福祉センター
- 65 沖縄市役所
- 66 読谷村役場
- 67 嘉手納町役場
- 68 那覇市役所
- 69 糸満市役所

- 70 豊見城市役所
- 71 八重瀬町保健センター
- 72 南城市役所
- 73 南風原町役場
- 74 久米島町役場
- 75 座間味村役場
- 76 渡名喜村役場
- 77 宮古島市役所
- 78 石垣市健康福祉センター
- 79 恩納村役場
- 80 金武町役場
- 81 北谷町保健相談センター
- 82 竹富町役場
- 83 与那原町役場
- 84 渡嘉敷村役場

保育所

- 85 若狭浦保育所
- 86 久場川保育所
- 87 与儀保育所
- 88 大道保育所
- 89 宇栄原保育所
- 90 社会福祉法人 報徳福祉会 童の城保育園
- 91 社会福祉法人 若杉福祉会 城北保育園
- 92 社会福祉法人 郵住協福祉会 あじや保育園
- 93 社会福祉法人 那覇垣花福祉会 鏡原保育園
- 94 風のうた保育園
- 95 社会福祉法人 養秀福祉会 首里当蔵保育園
- 96 社会福祉法人 玉重福祉会 第2 愛心保育園
- 97 さくら保育園

教育機関

- 98 県立泡瀬特別支援学校

大学院（37施設）

医療機関

- 1 沖縄県立八重山病院
- 2 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
- 3 琉球大学医学部附属病院
- 4 那覇市立病院
- 5 南部病院
- 6 浦添総合病院救命救急センター
- 7 沖縄県立 宮古病院
- 8 沖縄県立 中部病院
- 9 沖縄県立 精和病院
- 10 天久台病院
- 11 医療法人卯の会 新垣病院
- 12 ドクターゴン診療所
- 13 愛知県がんセンター中央病院
- 14 球美の島診療所

保健・福祉施設

- 16 訪問看護ステーション あんじゅ
- 17 訪問看護ステーション うりずん
- 18 竹富町社会福祉協議会 介護支援事業所 さみん
- 19 まんま宮古
- 20 ゆうかぎの会
- 21 久米島町社会福祉協議会
- 22 多良間村社会福祉協議会
- 23 粟国村社会福祉協議会
- 24 (合) 生活ing デイホーム 家福み一家
- 25 老人ホーム球美の杜

市役所、教育機関、その他

- 26 渡嘉敷村役場
- 27 竹富町役場
- 28 宮古島市消防本部
- 29 宮古島市役所
- 30 石垣市消防本部
- 31 久米島町役場
- 32 座間味村役場
- 33 多良間村役場
- 34 粟国村役場
- 35 多良間村立多良間小学校
- 36 儀間保育園
- 37 久米島の久米仙

沿革

平成 11 年度

- 〈4月〉 沖縄県立看護大学開学
- 〈6月〉 沖縄県立看護大学 後援会設立総会開催
- 〈7月〉 開学記念式典・祝賀会・記念講演を開催
- 〈11月〉 第1回キャンパスフェアを開始
(平成12年度に「看大祭」に改称・以後毎年開催)

平成 12 年度

- 〈8月〉 第1回オープンキャンパス開催(以後毎年開催)

平成 13 年度

- 〈7月〉 ハワイ大学との学術交流協定締結
- 〈7月〉 第1回海外研修セミナー ハワイ2001実施
(3週間・以後毎年実施)
- 〈10月〉 第1回公開講座開始
(平成14年2月以後毎年開催)

平成 14 年度

- 〈3月〉 第1回卒業式

平成 16 年度

- 〈4月〉 沖縄県立看護大学大学院 博士前期課程・博士後期課程開設

平成 17 年度

- 〈3月〉 第1回大学院修了式 博士前期課程
第1期生修了

平成 18 年度

- 〈3月〉 大学機関別認証評価において基準を満たしていると認定される

平成 20 年度

- 〈4月〉 沖縄県立看護大学 別科 助産専攻 開設
- 〈9月〉 文部科学省助成「島嶼環境を活かして学ぶ保健看護の教育実践」・「島嶼看護の高度実践指導者の育成」採択
- 〈10月〉 開学10周年記念式典・祝賀会・記念講演を開催
- 〈3月〉 第1回別科助産専攻修了式

平成 21 年度

- 〈7月〉 沖縄県立看護大学同窓会統合記念総会
- 〈9月〉 文部科学省助成「看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想」採択

平成 22 年度

- 〈9月〉 台北医学大学との学術交流協定締結
- 〈2月〉 専門看護師教育課程の認定(精神看護、老年看護、がん看護、慢性看護)

平成 23 年度

- 〈10月〉 文部科学省助成「専門的看護師・薬剤師等医療人材養成事業」採択
- 〈11月〉 「島しょ・へき地の看護職者の人材養成・人材確保事業」採択

平成 24 年度

- 〈9月〉 文部科学省助成「多価値尊重社会の実現に寄与する学生を養成する教育共同体の構築」採択

平成 25 年度

- 〈3月〉 専門看護師教育課程の認定(小児看護)
- 〈3月〉 大学機関別認証評価(2回目)を受け、基準を満たしていると評価を得た
- 〈3月〉 大学機関別選択評価(1回目)を受けた

平成 26 年度

- 〈2月〉 国立大学法人琉球大学、公立大学法人名城大学、沖縄県警察本部との「安全・安心なまちづくりに関する協定書」を締結

教員一覧

【看護学部】

●教養科目

保健医療情報

- ※学生部長
兼教授 金城 芳秀

外国語

- 講師 山城 綾子

●専門教養科目

人体構造・機能学系

- ※教授 安谷屋 均

保健医療学系

- ※教授 新城 正紀

保健社会学系

- ※准教授 渡久山 朝裕

●専門科目

基礎看護

- ※教授 宮城 恵子
- 准教授 金城 忍
- ※准教授 宮里 智子
- 助教 高橋 幸子
- 助手 金城 里奈

小児保健看護

- ※教授 永島 すえみ
- ※准教授 上原 和代
- 助教 山本 真充
- 助手 宮里 暁乃

母性保健看護・助産

- ※教授 玉城 清子
- ※准教授 賀数 いづみ
- 講師 井上 松代
- 助教 西平 朋子
- 助手 下中 壽美
- 助手 嘉陽田 友香

成人保健看護

- ※図書館長
兼教授 神里 みどり
- ※教授 山本 敬子
- ※准教授 仲宗根 洋子
- ※准教授 謝花 小百合
- ※講師 赤嶺 伊都子
- 助教 宮城 裕子
- 助手 荻堂 亜梨沙
- 助手 永野 佳世

老年保健看護

- ※学部長
兼教授 大湾 明美
- ※准教授 佐久川 政吉
- ※講師 田場 由紀
- 助教 山口 初代
- 助手 伊牟田 ゆかり

精神保健看護

- ※教授 藤野 裕子
- ※准教授 大川 嶺子
- 助教 大島 泰子
- 助手 仲本 勉

地域保健看護・国際保健看護・

島嶼保健看護

- ※教授 川崎 道子
- ※准教授 牧内 忍
- 講師 長堀 智香子
- 助教 糸数 仁美

【別科 助産専攻】

- 教授 峰岸 まや子
- 講師 中原 芳子
- 講師 大城 すぎの

※は大学院兼務の教員

(平成27年4月現在)

平成28年度 学生募集要項について

1. 学生募集要項の配付時期について

- (1) 学部「特別選抜学生募集要項」……………平成27年 8月下旬 (公表後)
- (2) 学部「一般選抜学生募集要項」……………平成27年 9月下旬 (公表後)
- (3) 大学院「学生募集要項 (博士前期・後期)」……………平成27年 6月上旬 (公表後)
- (4) 別科助産専攻「学生募集要項 (推薦選抜・社会人特別選抜)」……………平成27年 8月下旬 (公表後)
- (5) 別科助産専攻「学生募集要項 (一般選抜)」……………平成27年 9月下旬 (公表後)

2. 学生募集要項の請求方法について

各募集要項は下記により配付します。

【1】大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。詳しくは、
沖縄県立看護大学ホームページ (<http://www.okinawa-nurs.ac.jp/>) をご覧下さい。

【2】テレメールで請求する場合

①下記番号に電話し、音声ガイダンスに従うこと。



IP 電話 050-8601-0101
(24 時間受付)
※IP 電話：一般電話回線からの
通話料金は日本全国どこか
らでも 3 分毎に約 12 円です。

②本学の資料番号

- (ア) 568200 (大学案内)
- (イ) 568220 (入学者選抜要項)
- (ウ) 588200 (募集要項 (一般選抜))
- (エ) 588210 (募集要項 (特別選抜))
- (オ) 548300 (大学案内・募集要項
(一般選抜))

【3】インターネットや 携帯電話で請求する場合

- ①【 <http://telemail.jp/> 】
- ②携帯用請求バーコード
※対応する携帯電話で
読み取れます。



【4】郵便局で「学生募集要項」を請求する場合 (10月より案内開始)

10 月より郵便局に設置される「国公立大学・短期
大学及び通信教育課程、大学校募集要項 (願書) 請求
申込書」(郵便局用願書請求カタログ) に必要事項を記
入の上、送料と払込手数料 130 円を添えて最寄りの郵
便局に申し込むこと。受付から 1 週間程度で送付され
ます。

【5】本学へ郵送により「学生募集要項」等を請求する場合

- ①封筒の表に請求する募集要項の名称 (上記 1 参照) を
朱書すること。
- ②返信用封筒 (角型 2 号・33cm×24cm) を同封すること。
なお、返信用封筒には、あて先 (請求者の郵便番号、
住所、氏名) を明記し、250 円切手 (速達希望者の
場合は 530 円切手) を貼付すること。

※一度ご利用になられた暗証番号 (4桁) は送料をお支払いいただく
際に必要になりますので必ず控えておいて下さい。また繰り返しテ
レメールをご利用いただく際にも便利です。

資料は受付から 2、3 日で送付されます。ただし、郵送開始日まで
のご請求は予約受付となり、郵送開始日になりましたら一斉に郵送し
ます。送料は、お届けした資料に同封の支払方法に従いお支払い下
さい。

※電話によるご請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきり
とお話し下さい。登録された音声の不鮮明な場合は到着まで時間
がかかる場合があります。

▲前記【1】【2】【3】【4】の請求方法に
ついての問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター / TEL 050-8601-0102 (9:30~18:00)



沖縄県立看護大学

Okinawa Prefectural College of Nursing

アクセスマップ

タクシー利用

(那覇空港～本学) 所用時間 約 30 分

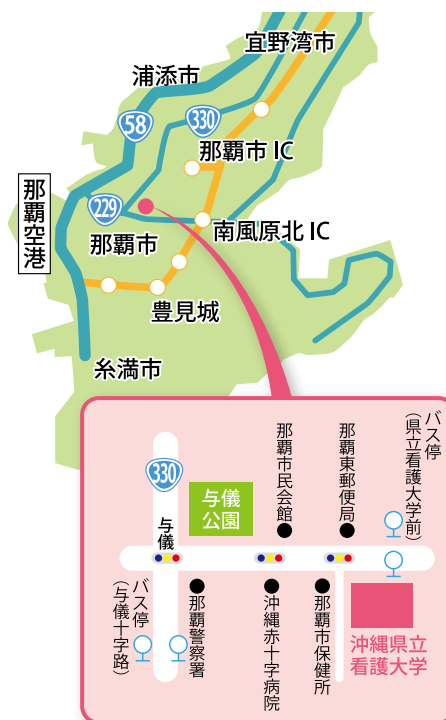
モノレールとバスの利用

◎モノレール (那覇空港～旭橋駅)

那覇空港より沖縄都市モノレール(ゆいレール)で旭橋駅下車、那覇バスターミナルまで徒歩3分。
モノレール所用時間 11分(10分間隔)、料金 約260円。

◎バス (那覇バスターミナル～本学)

- ①バス系統番号35・40・100・109番に乗車 ➡
県立看護大学前下車、
所用時間 約15分(15～20分間隔)、料金 約230円。
- ②バス系統番号34・37・38・39・41・50・51・53・54・83・89番に乗車 ➡ 与儀十字路下車、徒歩5分、
所用時間 約13分(10～20分間隔)、料金 約230円。
- ③バス系統番号31・55・112番に乗車 ➡
与儀十字路下車、徒歩5分、
所用時間 約13分(10～20分間隔)、料金 約230円。



〒902-8513 沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号 TEL (098)833-8800 FAX (098)833-5133

沖縄県立看護大学 [search](#)